



【指導書兼発問書】

SST絵カード30場面プログラム

はじめに

この指導書は、SST（ソーシャルスキルトレーニング）のための絵カード30場面に対応した、教師・支援者用の指導マニュアルです。



HEALTH



SERENITY



SENSATION



COMMUNICATION



RELATIONSHIP



ENVIRONMENT

各場面で「何を」「どのように」指導するかを、以下の5つのステップで具体的に示しています。

1. ① **イラストカード内容**：カードの視覚的な構成案です。
2. ② **導入トーク**：子どもの興味を引き出し、共感的な雰囲気を作るための「語りかけ」例です。
3. ③ **子どもへの問い**：カードを見せた後、子どもの思考や他者視点を引き出すための「発問」例です。
4. ④ **ロールプレイ活動**：学んだスキルを実践し、体感するための「活動」例です。
5. ⑤ **ふりかえり・発展活動**：活動を定着させ、内省を促すための「振り返り」例です。

このマニュアルを活用し、子どもたちの「できた！」という成功体験を積み重ねていきましょう。

No.1 朝、教室に入るときに先生にあいつする

① イラストカード内容

- ・教室の入り口に、登校した児童が立っている。
- ・先生は黒板近くにいて、微笑みながら児童の方を見ている。

- ・児童の口の前に吹き出し（空欄）を配置。
- ・もう一つの吹き出し（先生側）も空欄にして、「相互のやりとり」をイメージ。

② 導入トーク（教師の語り）

「みんなは、朝学校に来たとき、最初にどんな気持ちかな？ 元気な日もあれば、少し眠たい日もあるよね。じゃあ、教室に入るときに先生がいたら、どんなふうに声をかけるといいかな？ 今日のカードには、登校してきた子と先生がいるよ。どんな言葉を言い合っていると思う？」

③ 子どもへの問い（イラスト提示後）

- ・「この子は先生に何て言っていると思う？」
- ・「先生はどんな言葉を返しているかな？」
- ・「声の大きさや顔の表情は、どんな感じがいい？」
- ・「あいさつをすると、どんな気持ちになる？」
- ・「もし、あいさつをしなかったら、先生はどんな気持ちかな？」

④ ロールプレイ活動

- ・2人1組で、登校する子と先生役を交代で演じる。
- ・**意識するポイント**： 声のトーン（明るく）、笑顔（相手の目を見る）、タイミング（入室と同時）。
- ・教師は「今、声がしっかり届いたね！」「笑顔が素敵で、先生も嬉しくなったよ」と、具体的にフィードバック（承認）する。

⑤ ふりかえり（児童記入例）

- ・今日のSSTのテーマ：朝、教室に入るときあいさつ
- ・今日やってみたこと：「おはようございます」と先生に（元気に・笑顔で）言えた。
- ・気づいたこと：あいさつをすると、先生も笑顔になった。少し緊張したけど気持ちよかった。
- ・明日やってみたいこと：友だちにも「おはよう」と声をかけてみる。